

釣れ釣れなるままに

1993年思い出の釣行記 PART. 1

弁慶茶屋



鹿島釣狂

釣遊会第1回大会

☆開催日	平成5年4月18日
☆開催場所	寿都～豊浜軽臼漁港
☆入釣場所	弁慶茶屋
☆潮	満潮 02:08 13cm
	干潮 08:05 7cm
☆天候	曇り時々雨または小雪あられ西の風のち北西の風強く 波3～4m
☆釣果	ホッケ 380 mm 9
	アブラコ 280 mm 1
	ハゴトコ mm
	重量 211 0g
☆成績	点数 871 点
	順位 5 位

今年初めての釣行である。美唄支会書記長となり忙しい日々が続いていた。

当初は、宮野～太田の予定だったが、天気予報から役員での検討の結果、上記の範囲での開催となった。初めての場所で意気込んでいたのだが、意を新たにして弁慶茶屋に向かう。前野、嵐、吉井氏も一緒だ。

前回入釣した場所は、サラシ場となっており波も高く入釣できない。同行者は前年度前野氏が46cmのアブラコを仕留めた溝を岸から狙う。3人ほどの場所なので私は更に奥へ進む。波が多少死んでおり深くなっていると思われる場所で打ち始める。間もなく1時頃28cmのアブラコが釣れる。その後、波がいよいよ高くなり根掛かりも激しく寒い。磯に打ち上がったゴミの山に火をつけると勢いよく炎が上がった。体が温かくはなったが一向にアタリがないので4時頃移動する。

吉井氏の横に並び潮に立ち込んでの釣りとなる。立ち込み用にと三脚に8番線で竿尻受けを付けた。ホッケが釣れ始める。サラシ上での立ち込みで、手返しがうまくいかない。釣り上げたホッケを網に入れ三脚にぶら下げようとする、吉井氏から「三脚が倒される」とアドバイスをもらう。何とか7本上げたが波が足下を高く洗うようになったので移動する。

弁慶茶屋外れの立岩でウキ釣りする。(8:30)ここで2本のホッケを釣りタイムアップとなる。

- ①大前 1061点
- ②渡辺 1003点
- ③吉井 914点
- ④相馬 880点
- ⑤鹿島 871点

身長 田中 アブラコ46cm